

[第37回住まいのリフォームコンクール] 国土交通大臣賞などの受賞決まる

住まいのリフォームコンクールは「公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター」の主催により、住宅リフォームの普及促進とリフォームの水準向上を図ることを目的として、全国各地で施工された住宅リフォーム事例を募り、住まいとして優秀な事例について表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介するもので、昭和60年度より毎年実施しています。

リフォーム前後がともに住宅である作品を募集する【住宅リフォーム部門】と、住宅以外の建物を住宅として再生したものや、住宅を住宅以外に用途変更した活用事例を募集する【コンバージョン部門】の2部門にて開催し、6月29日の応募締切までに、【住宅リフォーム部門】に386件、【コンバージョン部門】に19件の応募が寄せられました。

「住まいのリフォームコンクール審査委員会」（委員長：真鍋恒博 東京理科大学名誉教授）による審査の結果、下記の上位賞6作品を含む入賞25作品を選定しました。また入賞作品の設計や施工に関わったマンションリフォームマネジャーには奨励賞を授与いたします。

なお、例年では、10月に行われる住生活月間中央イベント合同記念式典において国土交通大臣賞の授与、また、当財団主催による表彰式にて入賞者への表彰状の授与と上位賞作品の作品発表会を執り行っておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、中止といたします。

賞名（上位賞）	作品名及び応募者	所在地
国土交通大臣賞 【住宅リフォーム部門】	掛軸の家 —引き継がれる家族の物語— (株) 田口建設	埼玉県 さいたま市
(独)住宅金融支援機構 理事長賞 【住宅リフォーム部門】	リフォームの力 ～心の復興の記録～ (株) サンプロ	長野県 長野市
(公財)住宅リフォーム・紛争処理 支援センター理事長賞 【住宅リフォーム部門】	中廊下のある家 鴛海達矢建築設計事務所	福岡県 福岡市
(一社)住宅リフォーム推進協議会 会長賞 【住宅リフォーム部門】	大きかった家を最適化して快適に住む。 リフォームのヨシ	秋田県 秋田市
(一社)住宅瑕疵担保責任 保険協会会長賞 【住宅リフォーム部門】	夫婦2人をもてなす和の住まい (株) T o i v o ー級建築士事務所	埼玉県 さいたま市
まちづくり特別賞 (分野別特別賞) 【コンバージョン部門】	メンテナンスのデザイン ウズラボー級建築士事務所	大阪府 大阪市

入賞作品は、全国各地で開催される住宅関連のフェアやセミナー等において展示が行われる予定です。また、全ての入賞作品を掲載した冊子（入賞作品集）を11月に発刊する予定です。

＜問い合わせ先＞

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター リフォーム情報部業務課 岡田、春名
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階
TEL:03-3261-4567 FAX:03-3261-9357 ホームページ <http://www.chord.or.jp>

第37回住まいのリフォームコンクール入賞者一覧

■上位賞■

通番	賞	タイトル	応募者	所在地	所有・ 建方形式	構造
1	国土交通大臣賞 【住宅リフォーム部門】	掛軸の家 —引き継がれる家族の物語—	(株)田口建設	埼玉県さいたま市	持家一戸建	在来木造+伝統工法
2	独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞 【住宅リフォーム部門】	リフォームの力 ～心の復興の記録～	(株)サンプロ	長野県長野市	持家一戸建	在来木造
3	公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞 【住宅リフォーム部門】	中廊下のある家	鴛海達矢建築設計事務所	福岡県福岡市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
4	一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞 【住宅リフォーム部門】	大きかった家を最適化して快適に住む。	リフォームのヨシ	秋田県秋田市	持家一戸建	在来木造
5	一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞 【住宅リフォーム部門】	夫婦2人をもてなす和の住まい	(株)Toivo一級建築士事務所	埼玉県さいたま市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
6	まちづくり特別賞(分野別特別賞) 【コンバージョン部門】	メンテナンスのデザイン	ウズラポー一級建築士事務所	大阪府大阪市		伝統木造、木造、土蔵、鉄骨造

【住宅リフォーム部門】

通番	賞	タイトル	応募者	所在地	所有・ 建方形式	構造
7	優秀賞	サザエさんリノベするの巻	(株)COMODO建築工房	栃木県宇都宮市	持家一戸建	在来木造
8	優秀賞	景色をコントロールする家 鹿児島「木のマンションリノベーション」	(株)IFOO	鹿児島県鹿児島市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
9	優秀賞	未来へ紡ぐ家～この地に住まう都市型パッシブリノベーション～	(株)OKUTA	東京都足立区	持家一戸建	ツーバイフォー
10	優秀賞	思い出と過ごす家	(株)オノヤ	宮城県多賀城市	持家一戸建	在来木造
11	優秀賞	桜の香りに包まれた住まい	(株)カワムラアーキテクト	千葉県船橋市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
12	優秀賞	相続を見据えたリフォーム	喜多ハウジング(株)	福井県福井市	持家一戸建	在来木造
13	優秀賞	茶山台コモン～ふたつの「内庭」のある住まい	榊原節子建築研究所	大阪府堺市	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造
14	優秀賞	介護と在宅ワークの両立 —人と環境が支える母の時間—	(株)土屋ホームトピア	神奈川県横浜市	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート造
15	優秀賞	マンションで部屋数を増やすには？	(株)土屋ホームトピア 仙台支店	宮城県仙台市	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート造
16	優秀賞	RoD house—冗長性の分割—	永田 敦	埼玉県三郷市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
17	優秀賞	長期優良住宅化リフォーム推進事業による大規模修繕工事改善提案② ～材料の高耐久化による長周期化とライフサイクルコスト低減効果～	野村不動産パートナーズ(株)	埼玉県さいたま市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
18	優秀賞	新しいおひとり様の暮らし方「Solo Studio」	パナソニックAWエンジニアリング(株)	東京都大田区	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造
19	優秀賞	棚の家—水平の板で繋ぐ空間—	フジタケイ建築設計事務所+川上聡建築設計事務所/SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS	京都府京都市	持家一戸建	木質系プレハブ
20	優秀賞	90年代築の共同住宅を、郊外の多世代コミュニケーションの場へ『カスターナ栗平』	(株)ブルースタジオ	神奈川県川崎市	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造
21	優秀賞	1 Livingの家	茂木哲建築設計事務所	神奈川県横浜市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
22	優秀賞	質の高いラーバン・ライフを実現する住まい	(株)長谷工リフォーム	東京都三鷹市	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造
23	優秀賞	広い縁側の家	渡辺浩二設計室	島根県出雲市	持家一戸建	在来木造

【コンバージョン部門】

通番	賞	タイトル	応募者	所在地	所有・ 建方形式	構造
24	優秀賞	地域の駄菓子屋さんと育むまち・人とのつながり コミュニティスペース・コワーキングスペースを加えたコンバージョン	(株)後藤組設計室+座古竜介+吉川亮設計室	神奈川県川崎市		鉄筋コンクリート造
25	優秀賞	戸建住宅の建物ストックを活かした、開放的なオフィス空間 —CVC ANNEX—	塚本二郎建築設計事務所+環境システム研究所+安藤亮	千葉県千葉市		木質系プレハブ

※ 建築主(施主)の氏名は、公表していません。

「第 37 回住まいのリフォームコンクール総評」

「住まいのリフォームコンクール」も今年で 37 回目を迎えた。コンクールの形や進め方には、時代の要請に応じていろいろな変化があったが、様々な条件に対応したアイデアに基づく興味深い提案が毎回のように登場し、とても「ためになる」コンクールであることは確かである。審査についても、時代の要請に対応した内容を熟考した審査が続けられ、ますます充実していると言っても過言ではない。

しかし今回は、新型コロナウイルス問題のために世の中の様子がすっかり変わってしまい、例年通りの開催が危ぶまれる事態となった。どのような形でコンクールを開催すべきか、そもそも開催自体が可能か、などと大いに迷うところであったが、何とか実行に漕ぎ付けることができた。しかし諸般の事情の結果として、優秀作品の現地審査が実施不可能という事態になってしまった。

このコンクールでは、図面や写真だけでなく、実物を見るのが上位作品については必須として来ており、実物を見ずして作品の評価をするのは、このコンクールでは初めてである。これは審査にとっては大きな痛手であり、審査方法もこれまでとはかなり変わらざるを得ない。例年なみの作品数が集まるかどうかと言った不安だけでなく、このコンクールに相応しい作品の水準が満たされるか、審査がスムーズに実行可能なのか、などが危惧された。

しかし実際に審査作業に入ってみると、前年度に比べて応募作品数は確かに減ったものの、昨年の 430 件に比べて 405 件と、さほど致命的な縮小に至らなかったのは幸運であった。これは、建築と言うものは、規模にもよるが、設計から工事終了までに日時を要するものであり、リフォーム作品に関わる実際の作業についても、コロナウイルス問題以前から準備を重ねていたケースも少なくなかったとも解釈できよう。このような条件でも例年とさほど大きな違いの無い規模でコンクールが実施できたことは、幸運であったとともに、応募者の方々や審査に関わった方々の並々ならぬ尽力があつての結果である。

コンクールの応募作品の内容は、昨年と同様に「住宅リフォーム部門」と「コンバージョン部門」の 2 部門に分けている。審査の結果は、住宅リフォーム部門では 386 作品中 22 作品が入賞、またコンバージョン部門では、19 作品中 3 作品が入賞した。

作品の内容については、他に行なわれる詳細な発表に委ねるとしてここでは詳細は省くが、大勢の傾向にはさほど大きな変化は見られないものの、回数を重ねるにつれて応募作品の水準は良い方向へ進みつつある、という印象である。

次年度についてはコロナウイルス問題が終息しているかが気になるところだが、このコンクールが今後とも途絶えず、住宅リフォームの価値をますます認識させ、豊かな住生活の礎になることを祈るのみである。

第 37 回住まいのリフォームコンクール審査委員会

委員長 真鍋恒博

□ 第37回住まいのリフォームコンクール

国土交通大臣賞 受賞作品

■ 「掛軸の家 —引き継がれる家族の物語— 」

応募者：(株) 田口建設

外観



Before



After

掛軸の外観には、セメント系材から遠ざかす白亜（エポキシ樹脂系）をあえて用いず、1枚1枚異なる色合いのある陶器系の素材とする点で、既存の躯体との馴染を図った。建物正面の下部部分には米色（白木）を張り込み、古材とのコントラストを伴い、時の経過を楽しめるものとした。上部外壁は左官吹き付けにより、掛軸に似る、色鮮やかな青をアクセントとして復元した。

リビング・ダイニング



大梁を受ける柱は大木とし、荷重の少ない柱を節として、4枚のサッシ+古材+新材を構成した1つのシンボリックな開口部を3カ所設けた。上部は電動開口窓により、夏場の暖気を自然換気する。



伝統工法の小屋梁を現しにした開放的な空間には、床暖房+シーリングファンを完備し、冬場均一な温度分布となるよう配慮した。

第 37 回住まいのリフォームコンクール

■国土交通大臣賞 講評

作品名「掛軸の家 ―引き継がれる家族の物語―」

この建物は 140 年ほど前に岩槻（現在：さいたま市）に建てられた「長屋門」であり、建物の用途としては茶農家の奉公人の住まいでもあった。その後、曳き家があつて位置や方向が変わるなどの変化もあったが、その際に従来の基礎から布基礎への改修なども行われた模様である。こうした記録からは、この建物が、長い年月にわたって大切に使われて来たことが伺われる。ただし今回のリフォームの計画に際しては、この建物は農器具庫として使われていたとは言え、近年の状況では風雨が吹き込むなど、とても人が生活できる状況ではなかったとのことである。

こうした建物を再生・活用するため、損傷の大きい箇所以外での既存躯体の活用や、耐震性能の強化や断熱性能の向上などを考慮したリフォームが計画された。一般的な考えでは、現代的な設計で建て替えやリフォームを考えるのが一般的であり、そういう方法によれば、時間的にも費用的にも「効率よく」リフォームが実現したであろう。

しかし今回のリフォームでは、改修前は居住スペースではなかった建物を、現代の生活に相応しい居住スペースとして改修するための大幅な改善が実施された。特に、既存の構造体を出来る限り利用して、当然ながら必要な補強を施し、確実な耐震性の確保を基本とする構造が求められた。その結果、すっきりした外観や、小屋組を見せる大空間など、連続性のある空間構成が実現され、現代の生活に相応しいモダンで快適な居住空間に生まれ変わっている。

具体的な改修の例としては、エフロレッセンス（セメントを用いた材料の硬化後の表面に発生する白い綿状の結晶物）を敢えて抑えず 1 枚 1 枚異なる窯業系材料で既存の躯体との調和を図ること、建物正面下屋部分に於ける米ヒバと古材とのコントラストや時間的な変化も楽しむこと、更に外壁上部には左官吹付で鮮やかな青のアクセントを付けること、などの様々な工夫が施されている。

また、伝統的建築の良さを残しながら居住性能を確保することも考慮されており、伝統構法の小屋組の構造美を生かすべく、屋根の軽量化や壁面の軽量化と美観を両立させる努力なども行われている。この建物の快適性や伝統的デザインなどには、居住者からも十分な満足が得られている模様である。

以上のようにこの作品は、伝統構法の力強さを存分に生かしながら、現代の機能および快適性を十分に実現し、現代の快適な生活に相応しい居住性やデザインなどを遜色なく実現している。一般的に見られる「古民家リフォーム」とは、ある意味で一線を画したとも言うべき「伝統構法の現代的解釈」の好事例と言って良い作品である。こうした様々な「ディテールの遊び」をちりばめながら、今後とも長い時代に亘って伝統とモダンさが両立する、まさに現代の伝統構法と言える作品である。

歴史と伝統を重んじながらも、現代の生活様式の実情を見事に捉え、生活の利便性・快適性などを存分に生かしたこの作品は、国土交通大臣賞に相応しい優れた作品である。

第37回住まいのリフォームコンクールの概要

添付資料－1

1. 主催 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター
2. 後援 国土交通省／独立行政法人 住宅金融支援機構／
独立行政法人 都市再生機構／一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会／
一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会
3. 協賛 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 他25団体
4. 目的 全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、住まいとして優秀な事例についてリフォームの依頼主(施主)・設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介することにより、住宅リフォームの促進とその水準の向上を図る。
リフォーム前後がともに住宅である作品を募集する[住宅リフォーム部門]と、住宅以外の建物を住宅として再生したものや、住宅を住宅以外に用途変更した活用事例を募集する[コンバージョン部門]の2部門にて開催する。
5. 応募者要件及び対象
【住宅リフォーム部門】
応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則とし、2018年7月から2020年6月までの間に、リフォーム工事が完了した住宅(国内にあるもの)を対象とする。
【コンバージョン部門】
応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則とし、2018年7月から2020年6月の応募締切までの間に、これまでとは違う用途へ変更し、リフォーム工事が完了した建築物(国内にあるもの)を対象とする。
6. 応募締切 2020年6月29日
7. 応募件数 【住宅リフォーム部門】386件 【コンバージョン部門】19件
8. 入賞件数 上位賞 6点
〔国土交通大臣賞1点／(独)住宅金融支援機構理事長賞1点／
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞1点／
(一社)住宅リフォーム推進協議会会長賞1点／
(一社)住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞1点／
まちづくり特別賞1点〕
優秀賞 19点 合計 25点
マンションリフォームマネジャー奨励賞 3名
9. 審査委員 委員長 真鍋恒博 東京理科大学名誉教授 他11名
(添付資料－2参照)
10. 表彰式 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は中止とする。

審査委員会委員名簿

添付資料－2

委員長	真鍋 恒博	東京理科大学 名誉教授
主査	松村 秀一	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 特任教授
委員	池本 洋一	株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO編集長
〃	石坂 聡	国土交通省住宅局住宅生産課 課長
〃	鈴木ひとみ	建築設計工房パッソアパッソ 代表
〃	中西ヒロツグ	イン・ハウス建築計画 代表
〃	中野 淳太	東海大学工学部建築学科 准教授
〃	平野 祐子	主婦連合会 副会長
〃	丸茂みゆき	文化学園大学造形学部建築・インテリア学科 教授
〃	森田 芳朗	東京工芸大学工学部建築学科 教授
〃	山崎 徳仁	独立行政法人住宅金融支援機構 地域支援部技術統括室長
〃	須藤 哲夫	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター 専務理事

(敬称略、所属・役職は令和2年9月現在(審査時点))